

◇萬國工業會議開催さる◇

— 各國工業の權威者一堂に會して —

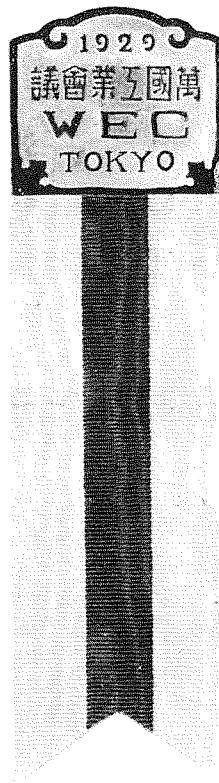
萬國工業會議に關しては既に數回に涉つて紹介した處であるが、此紀念すべき歴史的な大會議は、秩父總裁宮殿下の臺臨を仰ぎ、10月29日新成の日比谷公會堂に於て、萬國代表列席の上花々しく開會の式が舉げられた。

此會議は世界各國工業の權威者が、現代文明の基礎をなせる各種工業の成果及び研究を發表討議する一種の國際會議で、歐米に於ては部分的に從來屢々開催された事があつたが、我國は歐米各國より遠隔の地に在り、且つ言語風俗等の點に於て頗る特異なる状態に在つたる爲、此種の會合が我國に開催されること云ふ事がなかつたのである。然るに我國の工業は近年長足の發達を遂げ、歐米各國と堂々比肩して敢へて恥かしからず寧ろその成果に於ては、先進各國に誇るべきものすら現出さるに至つたのである。又一方に於ては一九二四年萬國動力會議燃料部會がロンドンに開催された際、我國より代表として東大教授加茂博士が出席し、當時米國委員の主なる人が萬國工業會議の第一回を日本に於て開催する事を勧誘する處があつた。然して博士が歸朝後、米國工業界の有力者スベリー博士は突然加茂博士に電報を寄せ、今後五ヶ年以内に日本が主催となりて工學の各部門を網羅する國際會議を開催せらるべきことを米國に於ける有力なる技術家の團體の意見として慫慂して來たのである。其處で加茂博士は我國の工業に關する各學會協會並に有力者各種々協議を重ねた結果、日本鑛業會土木學會、建築學會、電氣學會その他七つの

工業團體の母體であり、且つ最も古き歴史を有する工學會を主催者として開催する事に決定したのであつた。然るに會議の主體其ものが著しく廣汎に涉つてをり、且つ世界的な關係上、官民一致して計畫しなければ、到底之が成功を期する事が出来ないので、先づ政府に其贊助を請ふた結果、政府は此計畫に對して15萬圓以内の補助をするこゝとなり、初めて東京に今回の萬國工業會議を開催する事が決定された譯である。

斯くして機會は遂に到來し10月29日に發會式が舉げられ、翌日より11月7日まで帝國議事堂内に於て各部會を開き、夫々各國工業發達の精髓を示す専門的論文の發表朗讀が行はれる事になつたのである。從來軍備と政體の他何等世界に誇るべきものを持たなかつた我等は、世界各國の權威者を我國に會せしめ、工學の全般に涉る未曾有の大會議を、秋色酣なる我等の首都東京に於て開催する榮譽を荷ふこゝが出来たのである。今や人類文化の一切は工業に依つて基礎づけられ、打ち建てられてゐる際、我等は我國に於ける工業の異數なる發達を祝福すると共に、此の紀念すべき歴史的な大學術會議の最初の會合を、我國に開催するを得た事を深く誇りとするものである。

尙世界動力會議東京部會は、萬國工業會議と期日を同うし、互に連絡をこつて同一人が兩會議に出席し得る様日程をこり、10月29日帝國議事堂衆議院に於て開會式が舉げられた外國の參加人員は438名の多數に上り、日本



人出席者は約 800 名と稱せられてゐる。

I 萬國工業會議役員及參加者數

總裁 秩父宮雍仁親王殿下

名譽會長 總理大臣 濱 口 雄 幸

名譽副會長 商工大臣 依 孫 一

同 子 爵 澁 澤 榮 一

會 長 男 爵 古 市 公 威

副 會 長 男 爵 斯 波 忠 三 郎

同 男 爵 團 琢 磨

同 男 爵 四 條 隆 英

右の外各大臣、大學總長、貴衆兩院議長、東京市長、日本商工會議所長及十二學會長等斯界の有力者を網羅してゐる。

世界各國が競ふて一流技術家を送り、又最も權威ある論文を提出するため躍起となつた結果は、明かに數字に表はれて來た。即ち各國會員の參加者數は

亞爾然丁一名、奧太利一名、濠洲三名、ベルヂウム十一名、ブルマー一名、ブラジルー一名、加奈宛四名、支那五十一名、チエツクスロバキヤ三名、丁抹九名、フィンランド一名、佛蘭西八名、獨逸三十八名、英國三十五名、伊太利十三名、蘭領東印度三名、ポーランド一名、ワイリツピン六名、海峽殖民地二名、南亞弗利加二名、スエデン九名、露西亞九名、米國百三十一名、日本二千六百五十名（寫眞は會員章）

此の外同伴者を加ふれば萬國工業會議に出席する外國參加員五百名の多數なる。之等出席者は夫々各國各種工業の一流代表者であり斯種會合がなければ到店日本には來られそうもない大家もゐる。

II 各部會及提出論文數

部會は凡て 12 で、(1)一般問題、(2)精密機械學、航空用機械學等、(3)建築學、(4)土木學、(5)鐵道工學及運輸、(6)通信工學(7)動力及電氣工學、(8)機械工學及自動車工學、(9)造船學、(10)化學工學、燃料學、

(11)採鑛冶金學、(12)科學的管理、(以上)で各部會には夫々我國の權威ある學者が座長をつとめる。尙其席上發表される論文數を各國別にすると、

濠洲三篇、奧太利一篇、加奈陀四篇、支那十三篇、チツクスロバキヤ八篇、丁抹三篇埃及一篇、佛國十八篇、獨逸五十二篇、英國八十一篇、和蘭二篇、印度二篇、伊太利八十六篇、ジャバ三篇、瑞典六篇、米國百七篇、露亞西八篇、日本三百二十二篇、以上合計七百三十六篇

III 萬國工業會議日程

- 十月二十九日(火) 午前九時開會式及總會
(東京市日比谷公會堂)總裁秩父宮殿下臺臨
- 十月三十日(水) 午前九時半部會(帝國議事堂)、午後二時部會(同)
- 十月卅一日(木) 午前九時半部會(帝國議事堂)、午後總裁官殿下御召の閑遊會に付部會休會
- 十一月一日(金) 午前九時半部會(議事堂)午後二時部會(同)
- 十一月二日(土) 見學旅行日に付部會休會
- 十一月三日(日) 明治節部會休會
- 十一月四日(月) 午前九時半部會(議事堂)午後二時(同)
- 十一月五日(火) 午前九時半部會(議事堂)午後海外會員御茶會に御召に付部會休會
- 十一月六日(水) 午前九時半部會(議事堂)午後二時部會(同)
- 十一月七日(木) 午前九時總會及閉會式(議事堂)

宴會其他の接待

- 十月廿八日(月) 夜九時會長主催歡迎夜會
(帝國ホテル)、參加隨意(申込廿八日正午限り)會費を要す(服裝燕尾服又はタキシード)
- 十月廿九日(火) 夜九時海外會員招待の總理大臣夜會(首相官邸)
- 十月卅一日(木) 午後二時半總裁秩父宮殿下

御召の園遊會(新宿御苑)、全會員及役員御召ある筈(服装フロックコート又はモーニング)

十一月一日(金) 正午海外會員招待の東京市長午餐會(東京會館)

十一月四日(月) 午後二時より四時迄陸軍主催茶會(後樂園)、全會員及役員隨時參加

十一月五日(火) 午後海外會員御召の茶會

十一月六日(水) 午後七時海外會員招待の會長送別午餐會(東京會館)

十月三十日(水) 午後學術講演會(東京帝國大學講堂)

十一月一日(金) 午後工業講演會(日本工業俱樂部大會堂)

十一月四日(日) 午後通俗講演會(場所未定)

十一月五日(火) 午後通俗講演會(場所未定)

備考 講師、演題及榜聽券等に付ての細目はオフィシャル・ブレティンにて承知ありたし。

III 見學旅行

見學旅行の範圍は内地鮮滿臺灣に及び、實際的工業狀態の視察以外に多分の名勝地を案内するもので外國の會員には最も興味ある事と思はれる。此等外國會員の地方見學に際しては會員外の日本の技術者も親切丁寧に歡迎誘導されん事を希望する、見學日程の概要は次の通りである。

日光旅行 十月二十五日より十一月十日まで 一班定員百名宛の一泊旅行で、五班に分たれてゐる。

箱根旅行 十月二十五日より十一月十日まで 一班定員百名宛の一泊旅行で、五班に分たれてゐる。

鎌倉旅行 十一月三日及び十一月九日の二回で一回定員二百名。

東京復興事業見學 十一月二日定員二百名。

横濱旅行 十一月二日定員百五十名。

東京附近工場、研究所及試験所見學 十月三十日、十一月一日、十一月二日、十一月四

日、十一月六日。

横須賀旅行 十一月八日定員五十名。

大宮旅行 十一月八日定員五十名。

熱海旅行 十一月八日定員百名一泊。

富士五湖旅行 十一月八日定員五十名一泊。

足尾旅行 十一月八日定員二十名一泊。

日立旅行 十一月八日定員二十名一泊。

原ノ町旅行 十一月七日定員二十五名二泊。

仙臺松島旅行 十一月八日定員二十五名二泊
猪苗代、阿賀野川旅行 十一月七日定員二十五名三泊。

秩父旅行 十一月九日定員五十名。

名古屋旅行 十一月十日第一班定員二百名一泊、(大井特別班定員三十名一泊)、第二班十月十日定員二百名一泊。

京都直行班 十一月十日定員二百名。

京都、奈良、大阪、神戸行 十一月十二日より十六日まで定員二百乃至五百名の五班。

内海長崎旅行 十一月十四日定員五十名六泊

内海別府旅行 十一月十五日定員五十名六泊

宮島別府旅行 十一月十七日定員百二十名を三班に分ち五泊。

宮島長崎旅行 十一月十七日定員三十名六泊

宮島三池旅行 十一月十七日定員二十名六泊

宮島雲仙旅行 十一月十七日定員八十名六泊

朝鮮滿洲旅行 十一月十六日京都より定員三十九名三班にて二十七日大連まで。

臺灣旅行 十一月十六日京都より定員四十名を二班に分ち二十八日門司まで。

臺灣旅行 滿洲廻り接続、十一月二十三日大連より定員四十名を二班とし十二月七日門司に終る。

○復興展覽會 日比谷公園の一角に聳立した十階建の東京市公會堂の落成と同時に市政調査會主催で、十月十九日から十一月八日まで復興展覽會が開かれた。三百年前の江戸の地圖から今日の東京に至る迄の市域膨脹の狀態を示したもの、伊能忠敬翁の江戸測量圖、その他往古よりの大震災繪圖、並に復興に關する各種統計圖等、見るべきもの頗る多い。